

## 文献リスト

### 1. 基本文献

三牧陽子 (2008) 「第 2 章 談話を分析する」 木村健治・金崎春幸編『言語文化学への招待』大阪大学出版会 pp.147-161

### 2. 発話開始部

①ターン取得表現・行動 (ターンを取るときにどんな表現を使うか/行動を取るか)

【例】「ちょっとよろしいですか?」「あの一、質問があるんですけど、～」

【文献】中井陽子 (2003) 「言語・非言語行動によるターンの受け継ぎの表示」『早稲田大学日本語教育研究』3 pp.23-39 【①と同じ】

②配慮・関連表現 (ターン冒頭でどんな配慮を行うか/先行発話とどんな関連を示すか)

【例】「私の理解不足だと思うのですが、～」 「先ほどのAさんの質問と関連して、～」

【文献】野田尚史 (2014) 「配慮表現の多様性をとらえる意義と方法」野田尚史・高山善行・小林隆編『日本語の配慮表現の多様性——歴史的变化と地理的・社会的変異——』くろしお出版 pp.3-20

③反応・応答表現 (質問者の質問・コメントにどんな反応・応答で返すか)

【例】「あっ、おっしゃるとおりです」「それは今回の発表では扱っていません」

【文献】吉田睦 (2009) 「会話内の質問表現が持つ多義性 — 応答表現からみる会話構築を中心に—」『筑波応用言語学研究』16号 pp.87-97

④相づち・うなずき (肯定的/否定的なフィードバックをどのように行うか)

【例】「はいはいはい」{うなずきとともに}

「うーん、どうでしょう」{首をひねりながら}

【文献】中島悦子 (2011) 「第3部 自然談話のあいづち」(「序章 自然談話のあいづち」「第1章 あいづち—「ハイ」と「ウン」の使い分け—)『自然談話の文法—疑問表現・応答詞・あいづち・フィラー・無助詞—』おうふう pp.144-158

⑤視線・表情 (どんなときに視線を合わせるか/笑顔になるか)

【例】{視点を向けて} 「質問よろしいでしょうか?」

{視線を合わせて笑顔で} 「はい、お願いします」

【文献】坊農真弓・片桐恭弘 (2005) 「対面コミュニケーションにおける相互行為的視点—ジェスチャー・視線・発話の協調—」『社会言語科学』第7巻第2号 pp.3-13

### 3. 発話継続部

#### ⑥節連鎖表現（いつまでも終わらない1文の構造はどうなっているか）

【例】「あの一、△△についてなんですが、ハンドアウトの最初のページには〇〇と書いてあって、〇〇のことかなと思ったんですけど、そのあと次のページには××と書いてあって、ひょっとすると××のことかとも思いなおしたんですけど、どちらの理解が正しかったのでしょうか？」

【文献】丸山岳彦（2014）「現代日本語の多重的な節連鎖構造について CSJ と BCCWJ を用いた分析」石黒圭・橋本行洋編『話し言葉と書き言葉の接点』ひつじ書房 pp.93-114

#### ⑦接続詞（自分の話を続けるときにどんな接続詞で展開させるか）

【例】「〇〇が原則です。でも、例外的に××のこともあります。そこで、〇〇と考えたのですが、いかがでしょうか」

【文献】石黒圭（2010）「第7章 講義の談話の接続表現」佐久間まゆみ編（2010）『講義の談話の表現と理解』くろしお出版 pp.138-152

#### ⑧フィラー（言い淀むときにはどのようなフィラーを使うか）

【例】「うーん、そうですねー。たしかに〇〇かもしれません。ただ、あの一、その一、うーん、どうなのかな、××という点も考えると、〇〇という見方にも問題があって、私としても決めかねているところなんです。何かよいアドバイスはありませんか？」

【文献】中島悦子（2011）「第4部 自然談話のフィラー」（「序章 自然談話のフィラー」「第1章 フィラーの諸相」「第2章 フィラーの機能」）『自然談話の文法—疑問表現・応答詞・あいづち・フィラー・無助詞—』おうふう pp.178-213

#### ⑨参照・言及表現（ハンドアウトへの参照や先行発話への言及をどうするか）

【例】「レジユメの2枚目、右のページの中ほどの『例』をご覧ください」

「先ほどご発表のなかで〇〇とおっしゃっていたと思うのですが、私の勉強不足で初めて聞く言葉なので、〇〇の意味を教えていただけませんか」

【文献】渡辺文生（2010）「第9章 講義の談話の引用と参照」佐久間まゆみ編（2010）『講義の談話の表現と理解』くろしお出版 pp.169-186

#### ⑩非言語表現（説明のときにどのような身振りをを用いるか）

【例】「ここに一冊の本があったとして」{とを言いつつ両手の人差し指で四角を書いて見せる}

「そうそう、それなんですよ」{とを言いつつ相手のことを人差し指で指す}

【文献】ポリー・ザトラウスキー（2010）「第10章 講義の談話の非言語行動」佐久間まゆみ編（2010）『講義の談話の表現と理解』くろしお出版 pp.187-204

#### 4. 発話終結部

- ⑪ターン終結表現・行動（ターンを放棄するときどんな表現を使うか／行動を取るか）
- 【例】「以上です。よろしくお願ひします」「わかりました。ありがとうございました」
- 【文献】中井陽子（2003）「言語・非言語行動によるターンの受け継ぎの表示」『早稲田大学日本語教育研究』3 pp.23-39 【①と同じ】
- ⑫質問・確認表現（相手に質問・確認するときどんな表現を使うか）
- 【例】「ここに書かれている記号は何ですか？」
- 「〇〇とおっしゃった意味は、△△ということですね」
- 【文献】中井陽子（2003）「話題開始部で用いられる質問表現—日本語母語話者同士および母語話者／非母語話者による会話をもとに—」『早稲田大学日本語教育研究』2 pp.37-54
- ⑬言いさし表現（完全文で言い終わらないときの表現と効果は何か）
- 【例】「△△というつもりでこの言葉を使ってみたんですが……」
- 「〇〇したいと思ったので、試しにそれを……」
- 【文献】白川博之（2008）『「言いさし文」の談話機能』串田秀也・定延利之・伝康晴『「単位」としての文と発話』ひつじ書房 pp.1-25
- ⑭意図明確化表現（端的に自己の主張・他者の指摘をするときにどんな表現を使うか）
- 【例】「私がここでお伝えしたかったのは、今おっしゃった〇〇ということではなくて、××ということだったんです」
- 「〇〇という言葉を使ったことが誤解を生んだ原因ではないでしょうか」
- 【文献】三好理英子（2006）「日本語母語話者の意見陳述における談話」『多摩留学生教育研究論集』5号 pp.47-52
- ⑮スピーチレベルシフト（丁寧体に普通形を交ぜるときには何が起きているか）
- 【例】「問題点が明確になっているかどうか。それが重要だと思うんです。」
- 「〇〇という考え方もある。△△という見方もあると。で、あなたはどう思うんですか。」
- 【文献】杉山ますよ（2000）「学生の討論におけるスピーチレベルシフト——丁寧体と普通体の現れ方」『別科論集』大東文化大学別科日本語研修課程 pp.81-102